



2019年8月28日
C/CGR-JP-2019-14

ポッシュ、スマート農業ソリューション「Plantect®」の販売で ソフトバンク・テクノロジーと協業 農業者と販売業者をつなぐマッチングサービス「AGMIRU」 で販売開始

- ▶ 農業資材における ICT 分野製品の認知拡大、及びスマート農業の導入を支援
- ▶ 使いたい時だけ使える、お客様の声を反映した新たな販売プランが登場
- ▶ Plantect に対応可能な病害を新たに追加、さらに対象作物も拡大へ

東京—ポッシュ株式会社は、2019年8月、環境モニタリングとAIによる病害予測機能で構成されるハウス栽培向け農業ソリューション「Plantect(プランテクト)」の販売協業パートナーとして、「農林水産省まるみえアグリ」プロジェクトの一環であり農業資材の比較が簡単に行えるソフトバンク・テクノロジー株式会社(以下 SBT)のマッチングサービス「AGMIRU(アグミル)」と販売協業を開始いたします。この協業は、農業資材における ICT 分野製品の認知拡大、及びスマート農業の導入を支援することを目的としたものです。

リニューアルオープンする SBT 社 AGMIRU(アグミル)と Plantect の販売協業

2017年初夏に農業資材の比較サービスとして誕生し、会員登録数約4,800件を誇るAGMIRUが、農業の進化を通じ、日本の自然、文化、人々の交流を実現するポータルサイトとして2019年8月末にリニューアルします。このリニューアルでは、日本の農林漁村を元気にするために「オープンイノベーション」と「データ活用」で農業ICT革命を起こし、「消費者と生産者の食を通じた想いの交流」、「生産者がほしいものを選んで購入、ほしい人に選んでお届けできる流通システム」、そして「資材購入から生産、販売、会計までのシンプルな一元管理」を実現します。

Plantectは、ハウス栽培向けの環境モニタリングとAIを活用した病害予測サービスを組み合わせたポッシュの農業向けサービスです。独自開発した温度湿度センサー、CO2センサー、日射センサーを活用し、全てのハウス栽培作物を対象にハウス内環境の見える化を実現するだけでなく、92%の精度でトマトの病害リスクを予測します。ポッシュはこのたび、AGMIRU上でICT資材を牽引するソリューションとしてPlantectのオンライン販売を開始することで、農業におけるICT製品のさらなる普及と、スマート農業がもたらす効果の認知度向上を目指します。

なお、ボッシュでは AGMIRU のリニューアルオープンを記念して、AGMIRU にて Plantect をご購入いただくお客様を対象に、特別価格にて提供するキャンペーンを実施します(限定 100 台)。キャンペーンの詳細は、AGMIRU Plantect 特設ページ (<https://new.agmiru.com/user/plantect>) をご覧ください。

農林水産省「見える化」シリーズ まるみえアグリ

農林水産省は平成 28 年 11 月 29 日、政府の「農林水産業・地域の活力創造本部」において、「農業競争力強化プログラム」及び「農林水産物輸出インフラ整備プログラム」を決定し、「農林水産業・地域の活力創造プラン(改訂版)」の中に位置づけました。「農業競争力強化プログラム」においては、農業者が資材の購入先や農産物の出荷先を比較して選択できる環境、ならびに農業の研究成果の情報収集先の整備を目指し、「資材」、「流通」、「研究」の3つの「見える化」ウェブサイトをもとめて、「まるみえアグリ」として開設しています。

「資材」の見える化はソフトバンク・テクノロジー株式会社が運営する AGMIRU(アグミル)が担っています。詳細については[農林水産省 Web ページ](#)をご覧ください。

新プランと対象病害追加、さらなる需要創出へ

Plantect は 2017 年 8 月の発売以来、順調に国内におけるハウス内環境モニタリングサービスの需要を創出しています。現在提供しているトマト向けの予測可能な病害の種類も、灰色かび病、葉かび病に加え、うどんこ病への対応が 2019 年 4 月より可能になりました。また、2019 年 9 月 2 日からは、きゅうりやイチゴに発生する病害へも対応します。

さらに 2019 年 6 月、お客様の声を反映し、新たな料金体系である「使いたい時だけプラン」を追加しました。基本セットを購入すると 1 ヶ月単位での利用が可能となり、作物の作期に合わせて必要な時だけ利用することで、不要なランニングコストの抑制につながります。

今回の SBT 社 AGMIRU との販売協業により、より多くの生産者様に ICT 製品が農業にもたらす価値をご理解いただき、さらなる販売数拡大を目指します。

韓国市場への進出に向けた情報開示を開始。韓国 K-FARM へ初出展

2019 年 7 月、韓国 KINTEX で開催された K-FARM 2019 “Agriculture is the key to the future” にブース出展し、韓国市場進出に向けた情報開示を行いました。

韓国市場への公式な展開は 2019 年冬を予定していますが、ブースではデモ機の展示をはじめ、日本での事例紹介、コンセプトムービーの放映、販売パートナーとの商談窓口を設置し、韓国市場へ向けた初の情報提供の場を設けました。

スマート農業への関心が高まる韓国市場においても、データ活用の優位性や効率性のニーズは高く、期間中のべ 1,000 人の方にお立ち寄りいただきました。

<http://www.bosch-plantect.kr>

Plantect に関する情報は、公式サイト (<http://www.bosch-plantect.jp/index.html>) をご参照ください。

報道関係対応窓口:

角谷 清彦

古市 愛子

電話: +81-3-5485-3393

日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ(株)、ボッシュ・レックスロス(株)、ボッシュ パッケージングテクノロジー(株)その他の関係会社から構成されます。ボッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ボッシュ パッケージングテクノロジーは包装機械メーカーおよびインスペクション・テクノロジーの開発を行う会社です。さらにボッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2018 年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約 3,250 億円で、従業員数は約 6,800 人です。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。従業員数は約 41 万人 (2018 年 12 月 31 日現在) を数え、2018 年度の売上高は 785 億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティ ソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、およびエネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドマニュファクチャリングに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたソリューションの提供を戦略的な目標に定め、私たちは革新的で人々を魅了する製品とサービスを通じて、全世界の人々の生活の質を向上させることを目指しています。この方針に基づき、ボッシュは「Invented for life」をスローガンに掲げ、人と社会に役立つ革新的なテクノロジーを提供し続けています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 460 社、そして世界の約 60 の国々にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界中の約 130 の拠点数で約 6 万 8,700 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ (1861 ~ 1942 年) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は、非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」(持株比率 92%、議決権なし) が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)